



女子ソフトボール部、関東 I 部リーグ完全優勝 全日本大学選手権大会(インカレ)の出場権獲得

第12回関東学生女子ソフトボール春季リーグ戦(I部)が 5月3～5日に開かれ、本学は5戦全勝で完全優勝を果たしました。

初日、東京国際大学に7-0でコールド勝ちして波に乗り、淑徳大学、東海大学を下した後、前回優勝の山梨学院を10-2でコールド勝ちして優勝を決め、最終日には今回からI部に昇格した新島学園短大に11-0でコールド勝ちをしました。

大会は毛呂山町大類ソフトボールパークで行われ、連日、在学学生、野球部部員、卒業生、保護者、城西健康市民大学の方々など沢山の応援をいただいたことで選手たちは大いに勇気づけられました。この大会の結果、本学は関東代表として 9月に開催される全日本大学選手権大会(インカレ)の出場権を獲得しました。また、本大会から設けられた最優秀選手には、本学経営学部4年の並木あかね投手が選ばれました。

寺岡優花主将(経営学部4年)の話：三日間、沢山のご声援をいただき大変勇気づけられました。部としては三年ぶりの優勝でしたが、これまでの先輩方の経験の蓄積や優勝への思いが強い後押しになったと思います。今日は喜びたいと思いますが、私たちの目標は夏のインカレで優勝して日本一になることですから、スタートラインに立ったつもりで明日からまた練習に励みたいと思います。

